

郡山公民館だより

こおりやま
子どもから
大人まで
理想に燃えて
躍動する
学びの館

令和8年 1月号

郡山公民館

鹿児島市郡山町168
電話 298-2220
fax 298-2231

【1月の行事予定】

1日 (木)	~3日 (土)	年始休暇
4日 (日)	4月分貸館受付開始	
6日 (火)	第33回新春書初め大会	
10日 (土)	~2月6日 (金)	つばめロード作品展示 (墨友会)
15日 (木)	第9回八重大学	
19日 (月)	~30日 (金)	図書室特別整理期間休室



皆様にとって素晴らしい年でありますように

館長 狩集 淳

令和8年という新しい年を迎えました。郡山地区の皆様、そして郡山と縁のある皆様、今年もどうかよろしくお願ひいたします。

今年の干支は『丙午 (ひのえうま)』ということで『午年』になります。

馬は、遠い昔から、日本人の生活の近くにあり、農耕や狩猟を通して、ともに生きてきた身近な生き物でもあります。また、馬が持つ力強さから、この年は、様々なことが順調に進み、業務などの発展や努力が実を結ぶ年になるともいわれます。

郡山公民館でもこの一年を、駆け抜ける馬のように、勢いとエネルギーに満ちた活動的な一年にしたいと考えております。

躍進と飛躍の年、皆様にとって新しい学びや様々な出会いがありますように、郡山公民館職員一同、努力して参りますので、ご利用・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

12月の八重大学

12月11日 (木) に実施しました八重大学は、藤原流希世の会による日本舞踊から始まりました。講演はサン・フェリーチェ代表の若松 沙奈枝 先生による、「歌と健康でひらく幸せの扉」と題した講話でした。

70年代フォークソング等懐かしい歌を7曲交え、講座生は自然と口ずさんだり、手拍子が取ったりする姿も見られました。講演を終え、幸せを実感し、心を耕していただきました。



藤原流希世の会 若松沙奈枝先生

【第9回 八重大学の予定】

〔日時〕 1月15日 (木) 9:15 ~ 11:20

〔芸能発表〕 藤間流千寿会 (日舞)

〔演題〕 「詩人まど・みちおの世界」

〔講師〕 石田尚治 氏 鹿児島大学名誉教授 詩人まどみちおの甥

郡山地域人権問題研修会

12月13日 (土) 午前、ホールに宮内 礼治 氏(宮丸太鼓店店主)を迎えて「誇りをもって生きる」と題して講演をしていただきました。

太鼓づくりの実演を交えて、人権意識を高めていただきました。講演の中では、太鼓を作り上げていく専門的な高い技術にふれ、命の尊さや感謝、大切さをじっくり考える機会になりました。また、他人事ではなく自分のこととして考えていいくことの大切さも実感しました。会場に集まった約100人の聴衆は、講演の時間いっぱい熱心に聞き入っていました。

講演が終わると講師の周りに集まり、太鼓の皮を一目見ようとする方たちも多数見られました。



